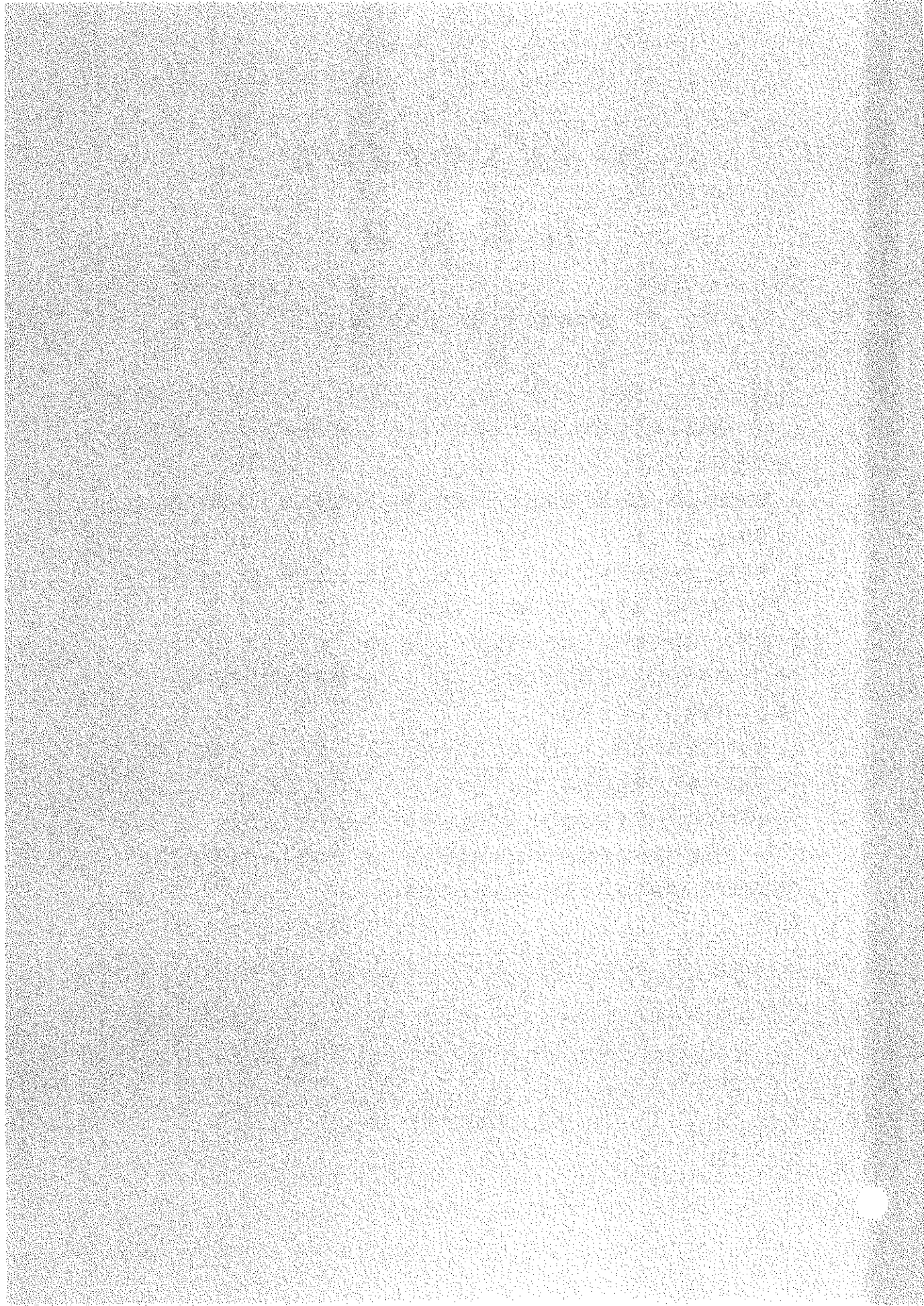


2018 年度 入学 試験 問題

日本史 B

(試験時間 16:25~17:25 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きには使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。



I つぎの(1), (2)の文章及び(3)の史料を読んで, それぞれの設問に答えなさい。解答は, 漢字を用いるべきところには正確な漢字で記入し, マークすべきところには一つ選んで, その記号をマークしなさい。なお, 史料の原文は漢文であるが, 読みやすいように書き改めてある。(30点)

(1) 1072年, (A) 天皇から皇位を継承して即位した白河天皇は, 1086年に自らの皇子を即位させて上皇となり院政をはじめた。その後院政は鳥羽上皇, 後白河上皇に引き継がれ, 治天の君として上皇が政治の実権を握る院政期^①は100年余りつづいた。

そして, この院政期に上皇と結び付いて勢力を増したのが伊勢平氏^②であった。伊勢平氏は平正盛の時代に白河法皇に登用され, 正盛の子忠盛は鳥羽上皇の信任を得て殿上人となり, その子の清盛も保元の乱と平治の乱での活躍によって後白河上皇から厚く信任され, 1167年に太政大臣となり, 清盛の子弟らも高位高官についた。しかし, 平氏は次第に貴族らと対立するようになり, 1179年には後白河法皇を幽閉して専制的な政権を成立させた。

これに対して, 貴族, 大寺院や武士らが強く反発し, 後白河法皇の皇子であった以仁王が平氏追討の令旨^③を発すると, この令旨に呼応して挙兵する勢力が登場した。その勢力の一つが源頼朝を中心とする勢力であった。

頼朝は令旨に応じて挙兵すると相模国の鎌倉に拠点を定め, 自らの下に集まった武士集団を派遣して平氏や同族の武将と戦い, 同族の武将を打倒し, 1185年には平氏を滅亡させた。つづいて同年, 頼朝は守護や地頭の設置を後白河法皇に認めさせて鎌倉幕府^④を確立させ, 1192年には征夷大將軍にも任じられた。頼朝は政治的な手腕^④があり, 御家人に厚く信頼されていることもあって当初, 幕府の運営は安定していた。しかし, 1199年に頼朝が没すると, 頼朝の跡を継いで, その後2代將軍となった頼家^⑤に幕府運営の実権は与えられず, 政務は有力御家人らの合議により進められ, 政務の主導権をめぐる対立から有力御家人らの間で争乱がはじまり, 鎌倉幕府には動揺が見られるようになった。

問1 空欄Aにあてはまる天皇の名称を記しなさい。

問2 下線部①の院政期の文化の作品として誤っているものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 大鏡
- イ. 経国集
- ウ. 陸奥話記
- エ. 伴大納言絵巻
- オ. 信貴山縁起絵巻

問3 下線部②の伊勢平氏が関わった事件に関するつぎの記述 a～d について、事件が起きた年代順に正しく配列したものを、下のア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a. 崇徳上皇が争乱で敗れ、讃岐国に配流された。
 - b. 僧侶の俊寛が捕らえられ、鬼界ヶ島に配流された。
 - c. 出雲国で反乱を起こした源義親が追討された。
 - d. 上皇の側近であった藤原通憲が自害に追い込まれた。
- ア. a→b→c→d
 - イ. a→d→c→b
 - ウ. b→c→d→a
 - エ. c→a→d→b
 - オ. c→d→a→b

問4 下線部③が出された後に起きた出来事に関するつぎの記述 a～e について、誤っている記述の記号を組み合わせたものを、下のア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a. 都は福原に移されたが、貴族らの反対により京都に戻された。
- b. 源頼朝挙兵の翌年に平清盛は没した。
- c. 鎌倉に侍所が設けられ、和田義盛が最初の別当になった。
- d. 源義経や範頼は源頼政と戦い、勝利した。
- e. 源頼朝は奥州の藤原秀衡を攻め、滅ぼした。

- ア. a b
- イ. a e
- ウ. b c
- エ. c d
- オ. d e

問5 下線部④の鎌倉幕府のあった時代を鎌倉時代と呼ぶが、この鎌倉時代の経済に関する記述として誤っているものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 農業では刈敷が行われ、草木灰も肥料として使われた。
- イ. 畿内や西日本の農業では二毛作が普及した。
- ウ. 各地で三斎市が開かれるようになった。
- エ. 貨幣需要が高まり、明銭が大量に輸入されて使用された。
- オ. 荘園の中には年貢を銭で納めるところもあった。

問6 鎌倉幕府の有力御家人であり、自らの娘を下線部⑤の源頼家の夫人とし、1203年に滅ぼされた人物の姓名を記しなさい。

(2) 関ヶ原の戦いから3年後の1603年に徳川家康は征夷大將軍に任ぜられ、最後の武家政権である江戸幕府が開かれた。1615年には、豊臣秀頼が大坂の陣で滅ぼされ、幕府は政権として安定し、また、同年には幕府が一国一城令、(B)らによって起草された武家諸法度や禁中並公家諸法度を出し、大名や天皇・公家らは厳しく統制されることとなった。その後、2代將軍の秀忠が有力な外様大名であった(C)を武家諸法度に違反したとして処分し、幕府の政治力を誇示した。また、当初、幕府の統治組織は、徳川氏が一大名であった時代の組織が元となった簡便なものであったが、3代將軍の家光の時代になると老中らが常時幕政を担う組織として整備され、この頃には、將軍が大名らを統制し、將軍と大名らが全国の村や町を統制する体制が確立した。

一方、幕府の統制は寺社にも及び、寺院や僧侶に対しては統治体制の一環に組み

込みつつ順次に法令を出して統制し，神社や神職に対しても法令を出して統制した。

問7 空欄Bにあてはまる人物は臨濟宗の僧侶であり、「黒衣の宰相」といわれた人物である。その人名を記しなさい。

問8 下線部⑥の禁中並公家諸法度により，天皇の行動が制約されたことから紫衣事件がおこったが，この紫衣事件を契機に譲位した天皇の名称を記しなさい。

問9 空欄Cの人物は，居城であった広島城を無断で修築したとして1619年に処分された。あてはまる人物の姓名を記しなさい。

問10 下線部⑦の村で生活した江戸時代の百姓らが所持した田畑に関するつぎの記述 a～e について，誤っている記述の記号を組み合わせたものを，下のア～オから一つ選び，その記号をマークしなさい。

- a. 検地で確定された田畑は計帳に登録された。
- b. 田畑を所持しない農民は，田堵と呼ばれた。
- c. 田畑を所持する権利の移動を禁じた法令が出された。
- d. 田畑にたばこや木綿などの商品作物を自由につくることが禁じられた。
- e. 田畑が細分化されないよう，分割相続を制限する法令が出された。

ア. a b

イ. a c

ウ. b e

エ. c d

オ. d e

問11 下線部⑦の村では，年貢納入や犯罪防止などに当って連帯責任を負わせる数戸で編成される組織が設けられたが，その組織を何といったか。組織の名称を記しなさい。

問12 下線部⑧の統制に関する記述として誤っているものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 1665年に各宗派に共通する諸宗寺院法度が出された。
- イ. 1665年に神社・神職を統制する諸社禰宜神主法度が出された。
- ウ. 日蓮宗不受不施派の信仰が禁止された。
- エ. 寺院の檀家であることを確認する宗門改めが行われた。
- オ. 中国から伝えられた黄檗宗の信仰が禁止された。

(3) 史料

十一日

(中略)

一、今日 (D) 国人^{こくじん}集会す。(中略) 同じく一國中の土民^{どみん}等群集す。今度兩陣の時宜^{じぎ}を申し定めんが為^{ため}の故と云々。然るべきか、但し又下極上^{ただまたげこくじょう}の至^{いたり}なり。兩陣の返事問答^{さまいかん}の様如何^{いま}、未だ聞かず。

(中略)

十七日

一、古市^{ふるいち}、(D) より帰陣。六十三日の在陣なり。筒井同じく退散す。十市^{とおち}同前。越智^{おち}も同じ。兩陣の武家衆^{おのおの}各引き退き了^{おわ}んぬ。(D) 一國中の国人等申し合はず故なり。自今以後^{じこんいご}に於いては兩 (E) 方は國中に入るべからず。本所領共は各本の如くたるべし。新関等一切これを立つべからずと云々。珍重^{ちんちょう}の事なり。

(中略)

十三日

一、今日 (D) 国人^{びょうどういん}、平等院^{びょうほうなもつ}に会合す。國中の掟法猶^{じょうほうなもつ}以てこれを定むべしと云々。凡そ神妙^{およ しんみょう}。但し興成^{こうじょう}せしめば天下のため然るべからざる事か。

問13 史料は、『大乘院寺社雑事記』から、15世紀後半に起きた出来事について記している部分を示したものであり、「十一日」と「十七日」は同じ年の12月11日と同月17日のことであり、「十三日」は翌年の2月13日のことである。空欄Dにあてはまる国の名称を記し、空欄Eにあてはまる苗字を記しなさい。

問14 史料に記されている15世紀後半に起きた出来事が終息した後に成立した著作物の名称として正しいものを、つぎのア～オから一つ選んで、その記号をマークしなさい。

ア. 新撰菟玖波集

イ. 太平記

ウ. 梅松論

エ. 職原抄

オ. 神皇正統記

Ⅱ つぎの文章（A～G）中の空欄（a～j）に入れるのもっとも適切な地名を考え、正確な漢字で、記入しなさい。また、設問（①～⑩）については、もっとも適切なものをそれぞれ一つ選び、その記号をマークしなさい。（40点）

- A. 律令国家の確立・展開と並行して、中央政府は周辺地域への支配拡大を進めた。東北地方では、蝦夷と呼ばれた人々を制圧しつつ支配地域を拡大した。9世紀初めの桓武天皇の治世下、蝦夷の族長阿弭流為を帰順させた坂上田村麻呂は、鎮守府を多賀城から（ a ）城に移し、北上川に沿って支配地域を拡大させた。ただしその後、こうした東北地方での軍事行動と平安京造営とを併せて進める政策の是非について徳政論争と呼ばれる議論を経て、これら政策は打ち切られた。
- B. 足利義満は1401年に明との国交を開き、勘合貿易が行われるようになった。幕府が衰退すると、有力大名が貿易を行うようになった。中でも、細川氏と大内氏は、貿易の主導権をめぐる対立し、1523年には明の港町であった（ b ）で騒乱を起こした。この事件は（ b ）の乱と言われる。朝鮮半島では1392年、高麗に代わって朝鮮が建国された。1443年に（ c ）国を治めていた宗氏が朝鮮との間に嘉吉条約を結び、日朝間の貿易の管理権を得た。
- C. 1894年3月に朝鮮で東学の信徒を中心とする農民反乱が起こると、日清両国が朝鮮に出兵し、両国軍が交戦状態に入り、日清戦争が始まった。日本軍は朝鮮半島から清国軍を駆逐して清国内に進出し、同年11月には遼東半島の旅順・大連を占領、翌年2月には清国の北洋艦隊の拠点であった山東省の（ d ）を占領した。日清戦争は1895年4月に締結された下関条約で終結した。同条約では、遼東半島とともに、台湾と（ e ）諸島の清国から日本への割譲も取り決められた。
- D. 日露戦争後に日本政府は朝鮮半島進出をさらに本格化させた。日露戦争後の1905年11月に締結された第2次日韓協約で韓国の外交権を失わせ、1907年7月の第3次日韓協約では内政権を掌握した。さらに日本政府は1910年8月に韓国併合条約を強要した後、漢城から改称された（ f ）に朝鮮総督府を設置し、日本領朝鮮の統治機関とした。

E. 第一次世界大戦中の1917年11月、ロシアでレーニンらが指導する革命が起こった。社会主義国家の誕生を恐れた連合国は、革命政府と反革命軍との内戦が続いていたロシアへの干渉戦争をはじめ、日本も1918年8月、シベリアへの出兵を決定した。出兵に伴う米価上昇を見込んだ米の投機的買占めが横行した結果、同年夏には米価が急騰した。こうした米価高騰に伴う生活不安に対して、(g) 県の漁村の主婦たちを中心とする争議を発端に、米の安売りと買占め反対を要求する暴動が広がった。この米騒動には、全国で約70万人が参加したと言われる。

F. 奉天郊外の(h) で南満州鉄道の線路が爆破された(h) 事件を口実に、関東軍は中国軍への攻撃を開始した。関東軍は、同鉄道沿線から中国東北地域の諸都市を占領し、同地域を制圧した。翌年には、清朝最後の皇帝であった愛新覚羅溥儀を執政とする満州国が建国され、(i) を新京と改称して首都とした。こうした日本の動きに対して中国政府は激しく抗議し、国際連盟はリットン調査団を日本および中国へ派遣した。

G. 1956年10月、鳩山一郎首相がモスクワを訪問し、ソ連との間で日ソ共同宣言に調印した。同宣言によってソ連との国交が回復し、同年12月にはソ連の支持を得て日本の国際連合加盟が実現した。なお、同宣言で北方領土に関しては、両国間の平和条約が締結した後に、色丹島と(j) 諸島が日本に返還されることとされた。

〔設問〕

①Aに関して、下記の出来事 a～d について、古いものから年代順に正しく配列されたものを、下のア～オのうちから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a. 大隅国の設置
- b. 出羽国の設置
- c. 阿倍比羅夫を東北地方に派遣
- d. 前九年合戦

ア. c → a → b → d

イ. c → b → a → d

- ウ. $c \rightarrow a \rightarrow d \rightarrow b$
- エ. $a \rightarrow b \rightarrow c \rightarrow d$
- オ. $b \rightarrow c \rightarrow a \rightarrow d$

②Aの徳政論争において、東北地方での軍事行動の継続を主張したのは誰か。

- ア. 菅野真道
- イ. 菅原道真
- ウ. 和気清麻呂
- エ. 紀古佐美
- オ. 藤原緒継

③Bに関して、当時の日本からの輸出品としてふさわしくないものはどれか。

- ア. 刀剣
- イ. 生糸
- ウ. 屏風
- エ. 銅
- オ. 鎧

④Bに関して、1392年に朝鮮を建国したのは誰か。

- ア. 李舜臣
- イ. 李世民
- ウ. 李鴻章
- エ. 李成桂
- オ. 李承晩

⑤Cに関して、日清戦争中および戦後についての記述として正しいものはどれか。

- ア. 日清戦争の戦費は約 17 億円と巨額で、このうち約 7 億円分は外債の発行によってまかなった。
- イ. 遼東半島の清国から日本への割譲に反発したロシアは、フランス・イギリスとともに同半島の返還を日本に要求し、日本は返還に応じた。
- ウ. 日清戦争後に日本の植民地となった台湾では、初代台湾総督に児玉源太郎が任命され、民生局長の後藤新平を中心に鉄道建設・産業振興がはかられた。
- エ. 日清戦争後には欧米列強による中国分割が本格化し、イギリスは長江流域を中心に、フランスは福建省を中心に、ロシアは中国東北地方を、ドイツは山東省にそれぞれ勢力範囲を広げていった。
- オ. 日清戦争終結の 5 年後、清国の排外主義運動の高まる中で、日本は西洋諸国とともに清国に出兵し、清国の首都であった北京を占領した。

⑥Dに関する説明として誤りを含んでいる文はどれか。

- ア. 第 2 次日韓協約の締結に先立って、日本はイギリス・アメリカ両国との間で韓国保護国化についての承認を得た。
- イ. 韓国皇帝であった高宗は 1907 年 6 月、オランダのハーグで開かれていた第 2 回万国平和会議に密使を送り、独立回復を訴えたが、実を結ばなかった。
- ウ. 第 2 次日韓協約の後、日本への従属に強く抗議した閔妃（明成皇后）は、日本公使館守備兵によって殺害された。
- エ. 第 3 次日韓協約と同時に締結された秘密覚書に従って韓国軍隊は解散させられた。
- オ. 朝鮮総督府によって実施された土地調査事業の結果、広大な農地や山林が没収され、東洋拓殖会社や日本人地主などに払い下げられた。

⑦Dに関して、朝鮮総督に任命されたことがあるのは誰か。

- ア. 東條英機
- イ. 樺山資紀
- ウ. 寺内寿一
- エ. 宇垣一成
- オ. 乃木希典

⑧Eに関する説明として誤りを含んでいる文はどれか。

- ア. ロシア革命後、革命政府は即時停戦と無併合・無賠償・民族自決を呼びかけ、1918年3月にはドイツ・オーストリアと講和条約を結んで連合国から離脱した。
- イ. 日本のシベリア出兵については、シベリアに残されていたチェコスロバキア兵の救援を名目にしたもので、アメリカから共同出兵を提唱されていた。
- ウ. ロシアでは反革命軍が敗れ、イギリス・フランス・アメリカ軍も1920年までに相次いで撤退したため、日本軍は出兵国中最後まで駐留を続けることとなった。
- エ. シベリア出兵を決定した寺内正毅内閣は米騒動の責任を取って総辞職し、憲政会の原敬を首班とする政党内閣が成立した。
- オ. シベリアと同時に樺太北部に出兵した日本軍は、1925年に日ソ基本条約を締結し、ソ連との国交を樹立するまで駐留を続けた。

⑨Fに関する説明として誤りを含んでいる文はどれか。

- ア. 南満州鉄道の爆破は、石原莞爾ら関東軍参謀によって計画されたものであったが、関東軍はこれを中国軍のしわざとして軍事行動を開始した。
- イ. 当時の若槻礼次郎内閣は事変の不拡大方針を発表したが、関東軍はこれを無視して軍事行動を拡大したため、若槻内閣は総辞職した。
- ウ. リットン調査団の報告書では、日本軍の行動は自衛措置でなく、満州国は民族独立運動で成立したものでないとされ、満州における日本の経済的利益も否認された。
- エ. 1932年7月に日本の斎藤実内閣は日満議定書を締結し、満州国を承認したが、同議定書では日本軍の満州国への無条件駐屯権が認められていた。
- オ. 1934年3月、満州国の執政であった愛新覚羅溥儀は皇帝に即位し、満州国は帝政に移行した。

⑩Gに関して、日ソ共同宣言に調印したソ連の首相は誰か。

- ア. スターリン
- イ. マレンコフ
- ウ. ブルガーニン
- エ. フルシチョフ
- オ. プレジネフ

Ⅲ つぎの文章を読んで、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記入し、マークすべきところは一つ選んで、その記号をマークしなさい。なお、人名を記入する場合には姓名を記入すること。(30点)

明治時代は、滅亡した江戸幕府に代わって成立した新政府によって富国強兵が目指され、経済・産業の近代化が推し進められた時代であった。

政府は、1869年に東京・横浜間に電信線を開通させて公衆電報を開始するとともに、1871年には（A）の建議により、従来の飛脚に代わる官営の郵便制度を発足させた。そして1872年には、工部省のもとで近代産業には欠かせない交通機関の整備を進め、新橋と横浜の間に①鉄道を敷設した。また政府は、官営模範工場を開設し、先進技術の導入や貿易赤字の解消を図った。

② このような経済・産業の近代化政策を進めるうえで、財政の安定化は重要な課題であった。そこで政府は、1871年に田畑勝手作りを許可するとともに、1872年に田畑永代売買の禁止令を解き、地券を発行して年貢負担者に交付した。そして、1873年には地租改正条例を公布し、近代的な税制を確立させるとともに、財政の安定化を図った。③

1870年代後半になると、西南戦争の軍費のための不換紙幣の発行や国立銀行による不換銀行券の発行が原因で、インフレーションが急速に進んだ。また、長年にわたる輸入超過により、正貨保有高も減少していた。そこで、1881年に大藏卿に就任した（B）は、財政立て直しや紙幣整理を図るとともに、官営事業の払下げを推進した。この官営事業の払下げにより、政商が鉱工業の基盤をもち、後に財閥へと発展していった。④

1880年代には、鉄道業や工業などで会社設立が相次ぎ、日本でも産業革命が始まった。例えば、鉄道業では、1881年に華族を主体として設立された日本最初の民営鉄道会社である（C）会社が上野－青森間を全通させるなど、民営での鉄道建設ブームが起こった。また軽工業では、1883年に渋沢栄一らが設立した大阪紡績会社が最新機械を導入して大規模経営に成功すると、在来のガラ紡による綿糸生産が衰退し、機械制生産が急増した。問屋制家内工業生産が行われていた農村の綿織物業でも、豊田佐吉らが発明した小型の国産力織機が導入されるなど、機械制生産が進んだ。さら

に重工業では、政府が鉄鋼の国産化を目指して、福岡県北九州市に官営八幡製鉄所^⑦を設立した。この頃、政府は、1894年の日清戦争で得た巨額の賠償金で戦後経営を行い、1897年に（ D ）法を制定して金本位制を確立させるとともに、特定分野に長期的で大口の融資を行う特殊銀行^⑧の設立を進めて産業や貿易の振興を図った。

以上のように日本の産業革命が進む一方で、工場労働者の増加に伴い労働問題も生じるようになった。当時、繊維産業の工場労働者の大半は女性であり、劣悪な労働環境のもと低賃金で長時間の労働に従事していた。そのような状況に対して、過酷な労働の実情を記した出版物^⑨が刊行されたり、労働者が労働組合を組織し、団結して資本家に対抗する動きが現れたりした。高野房太郎・片山潜らは、1897年、（ E ）を結成するとともに、労働運動の指導に乗り出した。このような動きに対して政府は、労働者の団結権や争議行為を制限するなど労働運動を取り締まった^⑩。

問1 空欄Aにあてはまる人名を記しなさい。

問2 文章中の下線①に関して、初代工部卿として産業の近代化に携わった人名を記しなさい。

問3 文章中の下線②に関して、横須賀造船所において技術指導をしたフランス人技師の人名として正しいものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. ブリューナ
- イ. ヴェルニー
- ウ. クラーク
- エ. ボアソナード
- オ. ケプロン

問4 文章中の下線③にもとづいて実施された地租改正に関する記述として誤っているものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 地主・自作農から政府への納税は、従来の物納から金納に改められた。
- イ. 課税の基準は収穫高から一定した地価に変更し、地券所有者を納税者とした。
- ウ. 地租率（税率）は地価の3%とされたが、それを基準として、農作物の豊凶に応じて地域によって増減された。
- エ. 地主・自作農の土地所有権が確立するとともに、農村への商品経済の浸透が進んだ。
- オ. 政府はそれまでの歳入を減らさない方針で進めたため、茨城県の真壁騒動や三重県の伊勢暴動など負担の軽減を求める反対一揆が起こった。

問5 空欄Bにあてはまる人名を記しなさい。

問6 文章中の下線④に関する記述として誤っているものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 煙草税・酒造税を増徴するとともに、地方税などを新設することで歳入の増加を図った。
- イ. 増税によって農民の負担が重くなり、土地を手放して小作農に転落する自作農が現れた。
- ウ. 各省の行政費を徹底して緊縮したが、軍事費の削減だけは行われず、歳出に占める軍事費の割合は増加した。
- エ. 中央銀行として日本銀行を設立して銀兌換の銀行券を発行することで、銀本位の貨幣制度を整えた。
- オ. 米・生糸・繭などの価格が高騰し、さらなるインフレーションを招き、紙幣価値が下がった。

問7 文章中の下線⑤に関して、払下げられた事業所と払下げ先の組み合わせとして正しいものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 院内银山：古河，富岡製糸場：三井，長崎造船所：三菱，兵庫造船所：川崎

イ. 院内银山：川崎，富岡製糸場：古河，長崎造船所：三菱，兵庫造船所：浅野

ウ. 院内银山：古河，富岡製糸場：川崎，長崎造船所：三井，兵庫造船所：三菱

エ. 院内银山：浅野，富岡製糸場：古河，長崎造船所：三井，兵庫造船所：川崎

オ. 院内银山：浅野，富岡製糸場：三井，長崎造船所：川崎，兵庫造船所：三菱

問8 空欄Cにあてはまる名称を漢字4字で記しなさい。

問9 文章中の下線⑥に関して、この紡績機を1873年に発明した人名を記しなさい。

問10 文章中の下線⑦が鉄鉱石を買い入れた、中国湖北省にある鉄鉱石産地の鉱山の名称を漢字4字で記しなさい。

問11 空欄Dにあてはまる制定法の名称を記しなさい。

問12 文章中の下線⑧に関して、特殊銀行として設立された銀行としてあてはまらないものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 横浜正金銀行

イ. 台湾銀行

ウ. 第一国立銀行

エ. 日本勧業銀行

オ. 日本興業銀行

問13 文章中の下線⑨に関して、農商務省が1903年に刊行したものとして正しいものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 日本之下層社会

イ. あゝ野麦峠

ウ. 女工哀史

エ. 職工事情

オ. 最暗黒の東京

問14 空欄Eにあてはまる用語を記しなさい。

問15 文章中の下線⑩に関して、台頭してきた社会主義・労働運動・農民運動を抑えるために、1900年に第2次山県有朋内閣が公布した法律として正しいものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 工場法

イ. 治安維持法

ウ. 治安警察法

エ. 産業組合法

オ. 農会法

